

第5次加西市総合計画を可決

加西市のまちづくりの基本となる最も重要な計画で、様々な計画の上位計画となる「第5次加西市総合計画」が9月定例会に提案され、全議員で構成する総合計画審査特別委員会（土本昌幸委員長、別府直副委員長）を設置し、9月14日、15日の2日間にわたり慎重審議を行いました。主な内容は以下のとおりです。（所管部局ごとに審議）

■経営戦略室所管

問 第4次総合計画の評価は。

答 全体の進捗率は49%と低く、その結果がここ数年の人口減につながっています。

意見 5年の中間見直しが実施されなかったことが結果に影響しており、状況に応じた臨機応変な見直しを行うべき。

問 総合計画の位置付けについての市長の考え方は。

答 市長就任時には審議会、検討委員会、市民参画ワークショップで議論され、答申をいただいております。できるだけ早く市民が住みやすい地域としていくための施策を展開すべきで、市長が変わっても連続して実行すべきと考えています。

問 総合計画の評価・検証について、達成度を定期的に市民に報告していくべきではないか。

答 事業の実施にあたり、従来から公表している資料において総合計画との関係を示します。

■財務部所管

問 総合計画と予算の連動は。

答 予算編成時に総合計画のどの施策に当たるのか明示する形にしていきます。

問 公共料金の収納体制の強化の取り組みは。

答 現在も努力していますが、今後もできるだけきめ細かい対応と利便性の向上を図って改善に努めます。

意見 市としても厳しく対応していくべき。

■総務部所管

問 防災について、台風による水害など、想定を超えた被害が発生しているが、取り組みは十分なのか。

答 専門家の意見を踏まえて見直しを図っています。

意見 加西市の現状を把握し、中身のあるものにしてもらいたい。

■市民福祉部所管

問 地域の見守り体制を強化するネットワークづくりの考えは。

答 比較的元気な高齢者のボランティアへの活動の場の提供を検討します。

■地域振興部所管

問 かせい農業塾の内容は。

答 農業改良普及センターと連携し、農業者の経営、經理の勉強会を推し、支援します。

意見 高齢者の活力を生かしてもらいたい。

問 道の駅整備の考えは。

答 愛菜館について観光資源として六次産業も含めた新たな整備を図ります。

問 新たな産業団地整備の考えは。

答 県としては、費用をかけずに整備できる土地があれば優先したいとの意向で、候補地を県へ提案していきます。

■都市開発部所管

問 若者向けの安価な住宅を市の遊休地等を活用して供給できないのか。

答 今後、若者の定住策を検討します。

問 魅力ある中心市街地に関して、今後の北条のまちなかの整備の方針は。

答 歴史的なまちなみを残していくために県の景観地区の指定を受けるべく取り組んでいますが、狭い道路もあるため、緊急車両が入れる程度に整備できるよう、地区の協力を得ながら取り組みます。

問 新規居住者住宅の指定について、今後市内各地に広げていく上で、総合的に取り組む体制が必要ではないか。

答 地域からの課題を集約する市の組織を整備します。

■生活環境部所管

意見 市民の関心の高い水道料金の値下げについて、目標を持って取り組んでいただきたい。

■教育委員会所管

問 総合教育センターを活用した校種間連携強化の内容は。

答 小中連携の9年間を見通したカリキュラムを検証し、中学校でスムーズにつながるような体制を考えます。

問 玉丘公園をどのように整備するのか。

答 古墳の活用、保存の両面から整備計画をつくりたいと考えており、財政状況により予算が認められないが、市民や小中学生が郷土学習できるように努力します。

意見 加西市が誇れる公園にしてもらいたい。

問 第2子以降の保育料の無料化の計画は。

答 最終的には第2子以降の完全無料化を目指しますが、段階的に軽減策に取り組みます。

■病院所管

意見 医療体制の充実と親切な対応をしてもらいたい。

本会議最終日には、提案された議案を撤回し、委員会での審議内容を反映した総合計画案が再提案され、全会一致（退席1名）で可決されています。